

熊本留学生交流推進会議

事業名	くまもと地域に密着した留学生・日本人学生の交流とひとづくり推進						
実施期間	平成26年5月17日～平成26年12月6日						
場 所	熊本市国際交流会館、くまもと県民交流館パレア、熊本大学工学部百周年記念館、阿蘇地域						
参加者	外国人留学生	地域住民	学生	スタッフ	関係者	来場者	合計
	488	44	417	96	5	4	1054 名

＜実施内容＞

地域に根ざした留学生と日本人学生の交流事業を行いました。

新入留学生を歓迎するウェルカムパーティ（春・秋）、留学生に熊本をもっと知ってもらうための「ボランティアガイド養成講座」、留学生と日本人学生が合宿形式で多様なテーマについて討議する「グローバルワークキャンプ」、留学生と高校生の交流を深める「ボランティアワークキャンプ」、留学生があるテーマについて発表を行い異文化理解を深める「多文化共生シンポジウム」及び留学生に地元企業就職の情報提供を行う「外国人留学生のための就職説明会」を行いました。



多文化共生シンポジウムで熊本城「おもてなし武将隊」と写真を撮る留学生

① ウェルカムパーティ(春)(秋)

新入留学生を歓迎するウェルカムパーティを、5月と10月に開催しました。在校留学生、この歓迎パーティを通じて、新入留学生にとっては、日本での生活や文化に溶け込むための第一歩となり、日本人学生にとっては、貴重な国際交流の場となりました。

② 「くまもとを知ろう」ボランティアガイド養成講座

外国人留学生に熊本や日本についてより深く知ってもらい、また、本国から家族や友人が来たときに熊本を案内することや帰国後も熊本や日本のことを本国の人に伝えてもらうことを目的として実施しました。

7月6日、現役の地域ボランティアガイドを講師迎えて、熊本の文化、歴史、風土に関する講義と熊本城で実地ガイド体験を行いました。7月12日には、阿蘇地域にバスで出かけ、阿蘇山、阿蘇神社などで実地研修を行いました。参加留学生から、「熊本や日本について理解を深めるだけでなく、実際に家族や友人に熊本を案内・解説するとき、どのように話し、振る舞えばよいか学べた。」などの声が聞かれました。

③ 留学生・日本人学生交流研修

熊本市国際交流振興事業団と共催でグローバルワークキャンプを実施しました。留学生と日本人学生が、食、フェアトレード、ジェンダー、ライフスタイル、教育など5分科会でディスカッションをおこない、フィールドワークや各国の民族衣装や文化を紹介してお互いの文化に触れるプログラムなどをおこないました。

また、地域中学生・高校生との交流や相互の多文化理解のためのボランティアワークキャンプも開催しました。

④ 外国人留学生のための就職説明会

熊本県主催、熊本留学生交流推進会議等の共催により開催しました。熊本で就職を考えている留学生は、地元企業のブースで担当者の説明を熱心に聞いていました。

⑤ 多文化共生シンポジウム

熊本市国際交流会館で多文化共生シンポジウムを行いました。「留学生に聞いてみよう！～熊本に来て驚いたこと～」のテーマのもと、5名の留学生が発表しました。留学生はそれまで出身国であまりまえと思っていたことが、熊本に来てみるとそうでなかったこと、日本人の一般参加者は、熊本(日本)であまりまえと思っていたことが、実は外国ではそうではないことを認識し、異文化交流のための気づきのよい機会となりました。後半は、会館前の広場でちつきをし、熊本城から「おもてなし武将隊」も駆けつけ、にぎやかな交流の場となりました。

<参加者からのコメント>

陳 安芃さん(台湾)/CHEN AN-PENG

7月6日と12日に開催された「くまもとを知らう」ボランティアガイド養成講座に参加しました。現役ボランティアガイドの先生による熊本についての講義は、分かりやすく面白く、多くのことを学ぶことができました。バスで出かけた実地見学では、阿蘇山はとて美しく、自然の雄大さを感じました。今回学んだことを活かして、母国から家族や友達に来たときに熊本を案内したり、また母国に帰ったあと熊本を紹介したいと思います。この講座を通じて、他の留学生とも親しくなることができました。今回のような講座を、これからも外国人留学生にもっとたくさん開催して欲しいと思います。



ウェルカムパーティー(春) 学生サークルのアトラクション



ウェルカムパーティー(秋) 集合写真



くまもとを知らうボランティアガイド講座 熊本城での実地研修風景



多文化共生シンポジウムで発表した5人の留学生